



国際ロータリー第2740地区 長崎北東ロータリークラブ

2019~2020年
週報第26号
(通算2149号)
例会:令和2年1月29日

会長挨拶 草野 一夫



熨斗紙

熨斗(のし)は、もともと、あわびを薄く延ばした、熨斗匏(のしあわび)の事を指します。長寿を意味する縁起物であり、貴重なアワビを贈り物に添える事で、心のこもった特別な贈り物であることを意味します。しかし、手軽に手に入るものではないため、代用として、紙を使った熨斗飾りが使われるようになり、現在は、更に簡略化され、水引きと、のしが印刷された紙を用いることが、一般的で、この紙のことを「のし紙」といいます。結婚内祝は、慶事なので「のし」と「水引」が印刷されたのし紙をつかいます。



クイズ: どちらの「水引」が最適?



蝶結び・

結び切り・

- ・結婚祝い
- ・出産祝い
- ・快気内祝い
- ・引っ越し祝い

* 最適な「水引」を線でつないでみましょう

色…紅白もしくは金、銀/本数…10本/結び方…結び切り結び方は、大きく分けて「結び切り」、「蝶結び」、「あわび結び」の3種類があります。結び切りは、一度結ぶと、端を引っ張っても、解けない様子から、「一生結ばれる」という願いが込められており、婚礼に使われます。また「二度と繰り返す事のないように」という意味もあり、お見舞いや、退院祝いにも使われます。蝶結びは、何度も結び直せる事から、出産や、進学など何度あっても嬉しい一般的な慶事に用います。婚礼関係では、マナー違反となります。寸志と志の違い。「寸」という漢字には、「ほんの僅かなもの」という意味があります。「志」には、もともと「心の向かうところ」という意味があり、それがひいては「気持ち」という意味に、繋がります。つまり寸志とは「ほんの少しばかりの気持ちです」という気持ちを表す謙譲語で、お金や品物を渡す時に使われます。ここで重要なのは、寸志は目上の方が目下の人に金品を渡す時に使う謙譲語だと言う事です。何故なら、謙譲語は自分をへりくだって相手を立てる表現だからで、目下の方は、もともと相手より下でへりくだらなくてもいい立場にいるからです。ですから目上の人に対して、寸志を差し上げるのは、非常識で、失礼と言う事になります。寸志は、歓送迎会などの祝儀の時に渡すものですが、これに対して志は、もともと葬儀の際の受付や、手伝いをしてくれた人など、不祝儀の時に渡すものです。従って目上、目下は関係なく、他の人を、労う意味が込められていて、「ほんの少しばかりの気持ち」よりも重みがあるため「寸」という文字がなくなって単なる「志」となっています。最近では、「不祝儀の時に渡す」という習慣が段々と崩れ、不祝儀の時ではなくても、のし袋に「志」と書いたりしているのを時おり見かけますが、もともとの意味は違うものと言う事を、覚えておきましょう。

【幹事報告】

- 例会休会 長崎北東RC 2月5日(水)
長崎北RC 2月10日(月)
- 2月1日(土) 長崎東RC創立50周年記念例会・祝賀会に草野会長、前田幹事出席予定。
- 2月2日(日) 補助金管理セミナー 13時受付
高木会長エレクト、岩永城児幹事、鬼塚ロータリー財団委員長、事務局参加
- 2/11(火)祝日
★9時30分集合 長崎県高等学校ラグビーフットボール三地区対抗戦
大村市放虎原ラグビー場
★13時～ 登録受付開始 1M ホテルニュー長崎
- ガバナー事務所からのアンケートの記入された方は事務局へお願いいたします。
- 例会後、定例理事会
- 岩永信昭会友が2020年1月に米山功労者 第9回マルチプルを受賞いたしました。



代行 井口 盛博

今後の予定

- 2月5日(水) 休会
- 2月12日(水) 卓話・長崎県文化観光国際部
世界遺産課 課長 桑原 恵様
- 2月19日(水) IMIについて

ニコニコBOX

草野:①本日、前田幹事、鹿児島出張にて少々遅れるとの連絡がありました。井口副幹事、よろしくお祈いします。②早崎会友、本日のインニエーションスピーチ期待しております!

石橋:早崎さん、スピーチ楽しみにしています。

鬼塚:早崎さん、インニエーションスピーチ頑張ってください。

高木(潤):早崎さん、スピーチ楽しみにしています。笑いをお願いします!!

田中(徳):本日、早崎会友、頑張ってください!

中野(雅):早崎様のとてもステキなインニエーションスピーチをすごく期待しております。宜しくお祈いします。

浜本:早崎悟さん、本日のインニエーションスピーチ 宜しくお祈い致します。

東:早崎悟会友、本日の卓話よろしくお祈い致します。楽しみにしています。

平川:草野会長、いつも興味をそそるお話をありがとうございます。

丸木:早崎悟会友、本日の卓話よろしくお祈い致します。楽しみにしています。

小計: 10名/¥22,000

累計:339名/¥793,000

卓話

インニエーションスピーチ Initiation Speech 早崎 悟会友



皆さん、こんにちは。先週から長信さんの素晴らしいスピーチでプレッシャーをかけられてしまい、この一週間がとても長かったです。本日は私の『インニエーションスピーチ』という事で皆さんには貴重なお時間を頂きお話をさせて頂くのですが、そもそも『インニエーション』という言葉の意味も分からなかったの、話にならないと思ひまして、調べてみたところ一説には『インニエーション』とは『ある集団や社会で一人前の成員として認められるための儀式』と書かれてありました。置き換えるならば、『北東ロータリークラブの一員として認めて頂く為のスピーチ』という事になります!なので本日は、認めて頂けるよう精一杯スピーチさせて頂きますので宜しくお祈いします。私は、1977年(昭和52年)2月7日に長崎市に生まれ、南陽小学校、深堀中学校と義務教育を経て、高校は長崎工業高校、電気科を卒業してもうすぐ43歳になります。小学校ではラグビー、中高では野球をやったので、割りと体育会系の活発な方だったと思ひます。その反面ですね、母が書道教室を開いていた事もあって、物心付いた頃から中学卒業まで筆を握られてましたので、文科系な面もあったのかなと思ひます。高校卒業後は長崎市内の某電気工事会社就職したんですけど、就職から1年

ほどで人生の転機が訪れまして…！当時、交際していた彼女(もちろん嫁さんなんですが…)との間に子供を授かりまして19歳にして結婚する事となります。いわゆる『できちゃった婚』ですね。今でこそ『授かり婚』などと言われたりして、結婚する一つのきっかけになっている様ですが、当時はあまり感心される事では無かったような気がします。その時の子が長男で23歳になり、その後に生まれた長女が21歳、次男も20歳となり先日、成人式を迎えたところです。現在は、就職や進学で3人とも家元を離れてしまいましたので、夫婦二人で寂しく暮らしています。仕事の方は、高校卒業後に務めた電気工事会社を29歳で退社し、違う道での再スタートも考えたのですが、どうせなら10年間、電気工事で培った自分の力を試してみようと一大決心して平成18年に個人で電気工事業を立ち上げました。それから13年経ち、平成から令和へと新しい時代の幕開けとなった昨年の8月に、『株式会社ヨツバ電工』と法人成り致しまして、現在に至っております。業務の内容としましては、おもに建設業者様が施工される新築建物や改修建物において、電気設備の分野で工事に携わらせて頂く機会が多くあります。また、個人のお客様からの電気周りの故障や修理の対応はもちろんの事、近年ではLED照明の普及も広がり、住宅だけでなく、工場や店舗様などのLED照明へのリニューアル等にも携わらせて頂いております。私は深堀で生まれ育ち、深堀の女性と結婚し、深堀に自宅や会社を構え、今も、深堀で人生の歩みを続けている者として、ここで、深堀町の紹介をさせて頂きたいと思っております。深堀町は人口およそ7000人の長崎県南西部に位置する港町で、海に恵まれた地の利を活かし、その昔から往来する貿易商人との交流で大いに賑わっていたそうです。こちらが、江戸時代、深堀を支配していた佐賀藩、家老、



深堀鍋島家、家臣の屋敷跡です。このように門や石塀は当時の面影を残しており、長崎市唯一の城下町の佇まいを残す町となっております。こちらは秋に行われる深堀くんちで神輿が担ぎ出される様子です。こちらは、少し見づらいの



こちらは毎年初めに無病息災を祈るおんのほね(鬼火)が行われている様子です。この様に古くからの伝統が残る町でもあります。深堀町の伝統を語る上で最も外せないのが深堀ペーロン競槽です。歴史は300有余年と言われ若者の血潮を燃えさせる一大イベントです。長崎のペーロン発祥の地とも言われています。私も若い頃は10年以上深堀ペーロンに漕ぎ手として参加をしていました。当時の深堀ペーロン大会の写真がこちらです。この辺の腕は私ですね(笑)優勝



チームは、深堀代表として松ヶ枝で開催されている長崎市ペーロン選手権へ出場できることもあって、優勝目指して必死で漕ぎまくっていたのを思い出します。この深堀ペーロン大会ですが現在は

6月に大会が開かれますが、昔は5月5日の端午の節句に行われていたこともあり、初節句を迎える男の子は、勇壮でたくましく育てほしいとの願いを込め、こんな感じで出走前の舟の上で選手に抱いて



もらい、太鼓やドラの音で祝う風習があります。ちなみに私も選手時代に船の上で我が子の節句を祝いました。深堀町は、古き良き歴史と伝統の残る素敵なお町です。余談ですが、今のサッカー日本代表監督の森保一さんは深堀出身なんです。先ほど、自己紹介でも話した様に19歳の時に新しい命を授かり結婚したのですが…。次の写真は本当に恥ずかしくて出すのを辞めようかとも思いましたが、結婚式で撮影した写真がこちらです。この写真の私を見て周りからは、召使いか執事とか言われて冷やかされた写真なのですが、この写真を出したのには理由があるんです。この写真を見て北東ロータリークラブの皆さんなら気づいて頂ける場所があると思うのですが、分かりますか？写真右下にご注目下さい。長崎新聞文化ホール写真室と書かれています。



長崎新聞文化ホール写真室

そうなんです！！実は結婚式を挙げたのが、ここ長崎新聞文化ホールアストピアだったのです！！20年以上前に結婚式を挙げた場所にお邪魔させていただく事になるなんて、思ってもいませんでした。本当に不思議な縁を感じます。結婚して23年経った現在も仲良く夫婦が続けられるのは、もしかすると長崎新聞文化ホールアストピアで結婚式を挙げたおかげかもしれませんね。この写真は、

中学、高校で一緒に野球をやってきた仲間と高校卒業後に草野球チームを結成しまして、九州大会に出場した時の一枚です。ご存知の方もおられると思いますが、長崎市民早朝野球大会という長崎市内の草野球チームが参加する大会があるのですが、その長崎市民早朝野球大会で平成13年Cクラス優勝、14年Bクラス優勝。そして平成22年には念願だったAクラス優勝を成し遂げ、長崎県代表として各県代表の8チームで争う九州大会に出場しました。1回戦4-0、準決勝5-3、決勝2-0と一日で3試合を戦う厳しいトーナメントを勝ち抜き、見事九州No.1の栄冠を勝ち取ることが出来ました。これは九州大会で優勝した時の長崎新聞の記事になります。その翌年、九州チャンピオンとして愛知県で行われた全国大会に出場しました。残念ながら初戦で敗れてしまいましたが、貴重な体験をさせていただきました。その頃は私も30代前半でチームの主力で4番打者を任される程でしたが、今は世代も入れ替わり若い選手が中心となり40代の私は縁の下の力持的存在になりましたが、チームでもう一度Aクラス優勝を目指し

